

解 答

- 問1 あ スエズ い 日露 う 農地改革 え 万国博覧会
- 問2 (1) 防人として九州へ派遣された農民
(2) 一遍のように、各地に仏教を広めて歩いた僧
- 問3 それぞれの地域でつくられている有名な特産物
- 問4 い
- 問5 (1) エ (2) ア (3) イ
- 問6 日本の近代化がすすんでいると見られれば、不平等条約改正の問題が解決できる。
- 問7 日本が勝利した戦争の戦地を訪れ、祖国の発展のために亡くなった人々をしのばせるため。
- 問8 (1) 保護扶助 (2) 日本国民であることを証明するため。
- 問9 個人旅行にくらべて、費用が安くすむこと。
- 問10 (1) 戸主を中心としたしくみが改められ、核家族化がすすんでいった。
(2) 女性の社会進出がすすみ、仕事をもつ女性が増えていった。
- 問11 (例)
国際的なスポーツ大会や国際会議の開催を増やすこと。
世界遺産の登録のためにはたらきかけること。
道路や案内板など、観光地の整備をすすめること。
- 問12 現地の気候や風土を肌で感じ、人々と交流したり、体験したりすること。
- 問13 (例)

表題 日本の伝統とわたしたちの生活

日本の伝統文化を紹介するために、古都の寺社や相撲・歌舞伎を見学してもらう。同時に、これらが現代の日本人の日常生活とは別の空間で行われている特殊なものであることを理解してもらうために、ホームステイをしながら、東京都心部を見学したり、小学校での生活を体験したりするという計画。

解 説

- 問1 あ 1869年のスエズ運河の完成により、大西洋とインド洋を結ぶ航路は大幅に短縮されました。スエズ運河は、太平洋と大西洋とを結ぶパナマ運河（1914年完成）とならぶ重要な運河です。
う 農地改革は戦後、連合国軍総司令部（GHQ）の指令にもとづいて行われた、農村の民主化を図るための政策です。国が地主の農地を強制的に買い上げ、その農地を耕作していた小作人に安く売りわたしました。これによりほとんどの小作人が、農地をもつ自作農になりました。
- 問2 (1) 運脚とよばれた、都へ調や庸を運んだ人たちも長い距離を移動した人々にあてはまります。往復の行程での食料は自分で用意しなければならなかったため、飢えや病気によって途中で倒れてしまう人も少なくなかったといわれています。
(2) 一遍のほか、各地に仏教を広めて歩いた僧として空也などがあげられます。空也は全国各地を歩き、阿弥陀仏を信じることに、死後、極楽浄土に行けるといふ仏教の教えである浄土教を広めました。
- 問5 (1) 赤穂（兵庫県）は城下町です。塩の町としても有名で、かつては多くの塩田がありました。
(2) 沼津・島田（いずれも静岡県）、桑名（三重県）は東海道の宿場町です。中津川（岐阜県）は中山道の宿場町です。
- 問6 明治政府は、江戸幕府が幕末に結んだ不平等条約を改正することを目的に岩倉使節団を派遣しましたが、欧米諸国は日本の近代化が遅れていることなどを理由に、条約改正に応じようとしませんでした。そこで日本は欧米の生活様式を取り入れるなど、欧化政策をとりました。
- 問9 家電製品や衣料品などで、大量に商品を仕入れ、安く販売する商店があります。パッケージ旅行も、旅行会社がまとめてホテルなどの宿泊施設や航空券を確保するため、個人で購入するより料金が安くなることがあります。
- 問11 2008年、国土交通省のもとに観光庁が設置されました。設立の背景には、日本人の海外旅行者数とくらべると、日本を訪れる外国人旅行者数が少ないことがあげられます。日本にもっと多くの外国人旅行者をよびよせたり、日本で開催される国際会議などを増やしたりすることをめざしています。